

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地防犯パトロール事業		
事業担当	市民部 暮らし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 警察・防犯協会・商店街等 】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して歩ける中心市街地になっています。		市民が安心して歩ける中心市街地にするため、警察、商店街、市が連携して防犯パトロールを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パトロール実施回数			単位	回
	説明・算定式	中心市街地をパトロールする回数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	6	6	6	6	
	実績	6	7	8		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	紅谷町犯罪件数			単位	件
	説明・算定式	紅谷町で発生した犯罪件数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	330	320	320	320	
	実績	265	335	254		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを8回と回数を増加して実施したところ、紅谷町で発生した刑法犯認知件数は前年度と比べ81件減少しました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「夜間、怖くて中心市街地を安心して歩けない」、「防犯パトロールを強化してほしい」等の要望が市長への手紙などにより市民から寄せられています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業の性質上、単年度のみで判断するのではなく、継続して実施していくことで、成果向上が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心市街地の治安向上には、防犯パトロールが最低限必要不可欠であり、警察・防犯協会・商店街等関係団体と連携することにより、効果的に分担して行っています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業は取組み、啓発が中心となるので、警察・防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んで実施していくことで効率的・効果的に実施しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		<p>「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施する必要があります。</p>		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,507	2,478	2,432	2,405
フルコスト (A+B)		2,507	2,478	2,432	2,405

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	事業の実施にあたって、天候等の不確定要因があるものの、成果指標に掲げる目標の達成に向け、引き続き警察・防犯協会・商店街等と連携して事業を展開していきます。
課長コメント	警察・行政・防犯協会・商店会等と連携し、効果的・効率的なパトロールを実施していきます。